

花 無 心

第 279 号ダイジェスト版 2024 年 5 月 発行

ひきこもり家族自助会とやま大地の会(設立 2001 年 3 月)

振込先 北陸労働金庫 富山南支店 普通 3414428 とやま大地の会

♪♪ 例会のおしらせ ♪♪



例会は、ミニ講演やグループでの分かち合いの場です。また個別相談会(希望者)も行っています。
能登半島地震の影響により、**会場が変更になっています**。今後も変更点がある場合がありますので、
参加を希望される方は、本会のホームページでの確認をお願いします。

06 月 15 日(第 3 土曜日) 第 280 回例会 13:30 ~
富山市舟橋北町 7-1 富山県教育文化会館 502 号研修室
07 月 20 日(第 3 土曜日) 第 281 回例会 13:30 富山県教育文化会館 504 階研修室
08 月 17 日(第 3 土曜日) 第 282 回例会 13:30 富山県教育文化会館 501 階研修室
09 月 21 日(第 3 土曜日) 第 283 回例会 13:30 富山県教育文化会館 503 階研修室

会費 正会員の 2021 年度からの年会費は 2,000 円。例会参加費無料。(振込料は各自負担です。)

非会員の方の、2021 年度からの例会参加費 200 円です。

駐車場について … 会館近く北東側に会館の駐車場があります。

◎富山県ひきこもり地域支援センター、最寄りの厚生センター、保健所で相談をしましょう。適切な支援に繋がるよう力を借ります。

◎支援センターに希望すること、親に出来ることを常時募集しています。

◎ご相談があれば、大地の会のホームページからお問い合わせ下さい。

「とやま大地の会」のホームページですが、下記 URL で開設しています。ご覧ください。

<http://toyamadaichinokai.com/>



本会の各事業は、富山県、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

♪ 5 月例会報告 ♪

日 時: 5 月 18 (土) 13:30~15:45 富山県教育文化会館 502 号室

参加者: 12 名(男性 7 名、女性 7 名{内体験者 1 名})のご参加がありました。

例会の始めに、保科さんのハーモニカ演奏にあわせ、『七つの子』・『月の砂漠』・『鯉のぼり』を歌いました。

I あいさつと諸連絡

本日は、279 回目の例会です。ご参加いただき有難うございます。会報「花無心 100 号記念」誌が手元にあります。大地の会を立ち上げた、I さん(故人)が次のように書かれています。“我が子のおかげであなたに会えた ありがとう、この巡りあい”、会員の皆様もそれぞれの思いを綴られています。懐かしいです。25 周年には、再びこのような素敵な記念誌を皆さんと一緒に発行できたらいいなと思いました。

8 月例会に、県外講師をお招きして、講演をしていただくことが決まりました。

【日時】8 月 17 日(土) 13:30~ 【会場】富山県教育文化会館 501 室

NPO 法人なでしこの会(名古屋市) 代表 田中義和さん

「なでしこの会」は 2001 年に設立され、愛知県内の 80 家族が参加しています。会の名前は「なみだをふいて」「できることから始めよう」「しあわせさがして」「この場から」から命名されました。

田中さんから: 私たちの会も、本人の平均年齢は 40 歳を過ぎています。なかなか支援につながらない、「変化」が見えない、長期高齢の本人と暮らすご家族が多い中で、家族会としてできることは何か試

行錯誤をしてきました。(『日本の科学者 2022.9』所収「ひきこもる人とその家族を支える-NPO 法人でしこの会の 20 年」から引用しています。)

II いつもの話し合い

全体会では、

- *子どもの不登校からひきこもりという流れの中で、父親としての経験だけをこれまで話してきたが、最近、社会に出て何らかの就労経験をしたのちにひきこもり状態になったという人も多い。いろんなケースでの話も出してもらえればと思っている。
- *子どもの学校の頃のことなど、過去の話を書き返しそうになるけど、今はそれを忘れて、これからをどうしようかと思っている。今は話ができるようになってきた(意見の違いがあっても)。
- *子どもが小さい頃は、子どもの気持ちを全然理解できず、強い言葉づかいになって、ゆとりを持って話ができなかった。皆さんの話を聞いて勉強になり大地の会に参加している。
- *母としての思いばかりで、子の思いは全然考えられなかった。少しずつそのことを考えられるようになってきた。
- *年を重ねてきたので、いろいろ準備をしてきている。これも健康でおれるからこそと思っている。子どもも話をしながら行っている。
- *子どもがこんな状態にならなかつたら、自分の思いばかりを考え、自分のことを振り返ることもなかったのではと考えている。子どもによって親も育てられたというか。
- *子どもが親のことを考えてくれていることが分り、自分も大きな声を出さなくなっている。自分の思いが強くて、子どものつらさがわからなかった。このような思いになったのも、大地の会に出席してきたからと思っている。
- *だめな親だった。10年前と比べたら良くなってきていることがたくさんある。そのことに思いがいたるように、今はなってきた。
- *いずれ両親がいなくなるので、ゴミ出しなども含めやれることを少しずつ増やしていき、親に安心してもらいたいと思っている。
- *夕食時の日常会話の流れの中で、ヨシケイから食材を試しに一ヶ月宅配してもらい、私(父親)と子どもも一週間最低一回ずつ担当することになった。

引き続き、2班に分けていつもの話し合いをしました。



A班(6名) 8050についてSさんから、ひきこもりの子のライフプラン「親亡き後の生活をどうするか」の説明がありました。

概要:最初にするのは、親の資産・負債を洗い出し把握する。

次に、親の収入・支出を確認する。年金生活に入ると赤字になる方が多くなる。家計の見直しを。

話し合い

- ・夫婦の一方が亡くなった時、残された方の国民年金や厚生年金がどうなるかについて、富山社会保険事務所まで教えてもらえます。
- ・いろんな事を本人に試してみる。具体的な事でも頼めばやってくれます。
- ・成年後見人を、子に託せないか? ⇒ 資格を持っていないと出来ない。

B班(6名)

- ・(全体会を聞いて)一緒に参加されている本人が“楽しかった!”と話されたと聞いてうれしい。
- ・(家にいて)子は、“何とかしたい”と思い、今の自分にできる事を考えて、実行してくれている。
- ・(子は)車を運転して、私を日々の買い物や外出に同行してくれ、大助かりだ。
- ・月日の経過とともに、少しずつ親子関係が変わってきたようだ。

[交流が進むうちに、だんだん、グループ内が笑顔であふれ、自然なフリートークの場になっていきました]

III その他

- 1 例会では、十分に自分の話が出来ない。言い足りないことなど日常のあゆみなど体験発表をしてみませんか?約 20 分間程度を予定しています。
- 2 投稿欄について

会員の皆様から、“ひきこもりの理解”に関する本の紹介や講演の感想等、募集しています。

富山県ひきこもり地域支援センター からのお知らせ

相談時間：月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00（要予約）

グループ相談を実施しています。

- ・ 本人グループ 毎週火曜日 10:00～12:00
- ・ 親グループ 毎月第2木曜日 14:00～16:00

まずはお電話でご相談ください。電話：076-428-0616

場所：富山県心の健康センター内 〒939-8222 富山市蜷川 459-1

IV 高岡つくしの会より（2003年設立）

6月例会 6月9日（日）1時30分より

場所 高岡市博労公民館

おとぎの森例会

6月12日（水）、6月22日（土）14:00より

場所 おとぎの森[こどもの家]ログハウス2階

- ・ 高サポ：きままスペース 毎週木曜日14:00～ 高岡地域若者サポートセンター
- ・ 高岡市役所福祉課祖横断受付・福祉連携推進室（ひきこもりに関する複合的相談）



V 書籍の紹介 『わかちあう本人の会 ～セルフヘルプというもうひとつの生き方～』

著者：岡 知史（ともふみ）

発行：枚方市精神保健推進協議会 1999年2月2刷

I. わかちあいから

わかちあい「本人の会」の基本です。会の活動は、ここからはじまるのです。わかちあいは、まず、同じ立場の人と出会いたいという気持ちからはじまります。それは、慰めあうということではなく、もっと大切な意味をもっています。わかちあうのは、それぞれの気持ち、役に立つ情報、どんどん力がでてくる考え方です。（7頁）

*岡先生は本年3月まで上智大学 社会福祉学科 学科長、現在は特別契約教授を務めておられます。

例会で、班に分かれての話し合いがだんだん笑顔溢れるわかちあいになりました。あの本に書かれていたことは“これだ！”と思い、本棚から25年前に購入したこの小冊子を再び手にしました。（やま）